

10/20

魅せる、美しき地域のきずな
美ら里まつり

地域の親睦やきずなを深めること等を目的に、美里中学校区の青年会やO.B.自治会が中心となった美ら里の会主催の第7回美ら里まつりが、沖縄市農研研修センターで開催され、台風の影響による悪天候にもかかわらず、大勢の地域住民等が来場し、盛り上がりを見せました。

大迫力のヒージャオーラセーでスタートしたまつりは、知花子ども獅子舞、美里中学校吹奏楽部の演奏、青年会によるエイサーなど多彩なステージが披露されました。最後には、出演者と観客が一緒にカチャーシーを踊り、まつりは閉幕しました。



東部まつり・東部海浜フェスタ
東部海浜大花火

沖縄市東部地域11自治会主催のイベント「沖縄市東部まつり」が10月19日に、東部海浜事業のPRを目的とした「沖縄市東部海浜フェスタ」が、19日、20日に沖縄県総合運動公園多目的広場で同時開催されました。

ステージでは小中学校の吹奏楽や空手、フラダンス、和太鼓、獅子舞、舞踊、エイサーなど盛りだくさんのプログラムが披露されました。

東部海浜フェスタでは事業を楽しく学ぶパネル展や大道芸のパフォーマンス、的当てクイズゲームなどが行われました。

20日は東部まつりが台風の影響により中止となりましたが、沖縄市東部海浜大花火を開催し、会場全体でのカウントダウンを合図に1000発の色鮮やかな花火を打ち揚げました。



地域のまつりで、こどもたちを応援

第13回山里チャリティー祭【和】(同祭り実行委員会主催)が、11月3日、山里で開催されました。

毎年、会場内に設置した募金箱と出店の利益を全額寄付することを目的に開催しているまつりで、今年は、子どもの貧困問題などに取り組んでいる「沖縄子どもの未来県民会議」を支援しようとい行われました。

出演者もボランティアで参加しており、青年会のエイサーやダンス、民謡ライブ、トラックショーなど多彩なプログラムで来場者を楽しませました。

また、11月12日には山里公民館で贈呈式が行われ、宮城雄希実行委員長より沖縄子ども未来県民会議事務局の沖縄県子ども未来政策課下地常夫課長へ寄付金が手渡されました。



11/2

歴史を紡いだ地で
地域のきずなを紡ぐまつり

今年、国指定名勝「アマミクヌマイ」に追加指定された越來グスクの城下町として栄えていた地域にある越來城水辺公園を会場に、第12回越來城下町まつりが、11月2日、3日に行われました。

越來城水辺公園周辺の11自治会が連携し開催したこのまつりは、地域がこれまで以上に協力結束し、文化・芸能による地域の活性化に邁進することを目的に行われています。

舞台上では、各自治会の老人会、青年会等が、三線、エイサー、フラダンスなどを披露したほか、自治会の垣根を超えた三線愛好会による合同演奏、高校対抗高校生ダンス大会など多彩な演目が披露され、広場を埋め尽くした観客を魅了しました。



11/10

10時間冷めない音楽熱

清潔で綺麗な地域づくり等を目的に、除草や清掃、剪定活動等を行っているももやま通りクリーンクラブ道路愛護会主催の「第8回ももやま通り音楽祭」が、市南桃原で開催されました。

地元の保育所や幼稚園の園児、かりゆしシニアクラブ等計44組の幅広い世代の出演者が、ポップ、ロック、民謡、歌謡曲等さまざまなジャンルの音楽を披露しました。

朝9時30分から夜の8時までノンストップで行われた音楽祭は、出演者と観客が一緒に踊る力チャージャーで、大盛況のうちに幕を下ろしました。



11/1

沖縄市教育の日
教育活動の功績を表彰

令和元年度 沖縄市教育委員会表彰式典が市民会館大ホールで開催され、児童会役員など学校生活等で模範となる優秀な活動を行った児童生徒47名、学力向上や学級経営等に功績のあった教職員13名、社会教育や教育活動、スポーツ活動等の充実に貢献された個人16名と13団体が表彰されました。

被表彰者を代表して沖縄市青年団協議会の奥村幸博さんが「これまで活動を支えてくれた家族や仲間」に感謝を伝えたい。会場の暖かい拍手が励みになる」と等とあいさつしました。



10/14 沖縄市から世界へ！
一流アスリートから学ぼう

空手やサッカーの一流アスリートとの交流イベントを沖縄市体育館で開催しました。

空手日本代表候補の喜友名諒選手、金城新選手、上村拓也選手の3名による空手教室には97人のこどもたちが参加。迫力の模範演技のあと、礼や正座等の基本的な動きや空手の形を学んでいました。

FC琉球トレーナー陣による「ケガをしない体づくり教室」には75人が参加。FC琉球のハモン選手、ダニエル・サンチェス選手等も参加し、こどもたちと触れ合いながら指導しました。

また、トークセッションも行われ、空手の3選手とFC琉球の小野伸二選手が、それぞれにスポーツを始めたきっかけや今後の目標や夢などについて話し、こどもたちの質問にも優しく答えました。



11/10 FC琉球をサポート

FC琉球対京都サンガF.C.戦が、タピック県総ひやごんスタジアムで行われ、楓葉館、アユーラ放課後等デイサービス沖縄1、LITALICOワークス沖縄、ブエノに通う障がい者・児10人と事業所のスタッフ、市職員が、観戦席の椅子拭きで運営のサポートをしたほか、障害者差別解消法に関するパンフレット等を来場者に配り、事業の周知に努めました。



10/26 ウチナインチュの心をひとつに

10月30日の世界のウチナインチュの日を前に、市中央のパルミラ通りで「世界のウチナインチュの日in沖縄市」ラテン☆スペシャル」と題したイベントが行われ、ズンバやフラメンコ等さまざまなラテンダンスが披露され、多くの市民等で賑わいを見せました。

イベントの最後には、出演者も観客もスタッフも入り混じり、列をなして踊りながら親睦を深めました。



10/18 最強の縁結びの神様、
沖縄市に降臨

台湾の台北霞海城隍廟に祀られている縁結びの神様『月下老人』が、沖縄市に訪れ、市役所で歓迎セレモニーが行われました。

市民ロビーに設けられた月下老人が奉納された祭壇の前では、市民等が台湾式の参拝を行いました。

月下老人が沖縄市に来るのは、今回で4回目。一番街商店街内の台湾文化館に12月29日まで滞在します。ぜひ、お越しください。



10/26 アメリカのハロウィンを体験

市民との交流を図ろうとチーム・カデナエアベース主催のハロウィンイベント「トランク・オア・トリート」が、沖縄こどもの国で開催されました。

ボランティアのアメリカ人が仮装してハロウィン仕様の車で勢ぞろいし、さまざまな仮装をして来場したこどもたちに、トランクからお菓子を配ったり、ミニゲームをしたりと、行列ができるほど賑わいました。



まちの話題・市民の活躍

10/15

人命救助に感謝状贈呈

8月22日に、下校途中の沖縄市照屋の路上で、病気のためうずくまっていた女性を発見し、協力して人命救助を行ったとして、安慶田中学校2年の金城李香さんと仲村綺良々さんに、沖縄警察署の大城辰男署長から感謝状が贈られました。

金城さんは「今後も困っている人をみつけたら、声をかけて手助けしたい」、仲村さんは「手助けしたことで表彰をされて、とてもうれしい」と話しました。



10/30

チーム一丸で九州制覇

美東中学校の女子ハンドボール部の選手等が、8月に開催された第48回九州中学校女子ハンドボール競技大会2連覇等の成績を残したことを、比嘉良憲教育長に報告しようと市役所を訪れました。

キャプテンの西田ころさんは「毎日のきつい練習を乗り越えて県大会で優勝し、九州大会でもチーム一丸となって優勝することができました」と報告しました。



10/31

感謝を込めて母校に贈る

山内中学校13期生の代表等が、山内中学校を訪ね、同校の大舩勝彦校長に寄付金を贈呈しました。

母校に感謝を伝えたいとの思いから贈られたもので、10月に行われ98人が参加した山内中学校13期生還暦同窓会の会費の一部です。

大舩校長は「後輩へのお気持ちありがとうございます。寄付金は、こどもたちのために大切に活用します」と感謝の意を伝えました。



10/30

1位・2位を市内で独占

男子バレーボールクラブの美原男子と宮里ビクトリーの選手等が市役所を訪れ、7月に開催された沖縄県スポーツ少年団バレーボール交流大会で美原男子が優勝、宮里ビクトリーが準優勝したことを比嘉良憲教育長に報告しました。

美原男子のキャプテンの仲宗根輝さんは「全国大会でも優勝できるよう頑張りますので、これからも応援よろしくお願いします」と抱負を述べました。



戦没者を供養し恒久平和を誓う

太平洋戦争において、犠牲となった戦没者の御霊を慰めるとともに世界の恒久平和を誓い、平和行政を推進するため、10月23日に沖縄市知花城跡慰霊の塔で「沖縄市美里地域慰霊祭」が、24日にこどもの国公園内慰霊の塔で「沖縄市コザ地域慰霊祭」が開催されました。

遺族や関係者等が参列し、戦没者の御霊に黙祷や追悼の言葉を捧げました。

また、沖縄市内の中学生を代表して、令和元年度沖縄市平和大使の沖縄東中学校の比嘉斗和さん、川満葵日さんが、美里地域慰霊祭で、安慶田中学校の比嘉優陽さん、佐喜真揺月さんがコザ地域慰霊祭で平和のメッセージを朗読しました。



まちの話題・市民の活躍

11/5 「もしも」の時
あなたは動けますか？

大規模地震等の発生を想定した沖縄市防災訓練を市内全域で実施しました。

実際の被害を想定した実践的な訓練を通して、防災意識の啓発、防災体制の向上等を図ることを目的とし、沖縄県広域地震・津波避難訓練に合わせて実施したもので、午前10時に県全域で大地震を観測、10時3分に県全域に大津波警報が発表され、10時33分に最大規模の津波が襲来したことを想定し、訓練を行いました。

市役所では、災害対策本部運営訓練等を実施し、桑江市長を筆頭に、災害発生直後を想定したシナリオに基づき、市民等からの問い合わせ対応や被害状況等の情報収集などの模擬訓練を行いました

地域では、自治会、学校、事業所など146団体、11,682人が参加し、高台や津波避難ビル等への避難経路を検証しながら訓練を実施しました。比屋根小学校では、津波避難ビルであるオキナワグランメルリゾートまで実際に歩き、ルートや避難するまでの時間等を確認しました。



10/29 志高き青年経済人が
高める防災意識

市の防災の現状等について理解を深めること、防災意識の向上を図り、万が一に備えることを目的に、沖縄商工会議所青年部主催の「【災害】青年経済人としてできること」自主防災・企業防災意識を高めよう！ツアー」が開催され、約20人の沖縄商工会議所のメンバーが参加しました。

市防災課職員による講習後、美東公園等にある市が管理している備蓄倉庫の見学等を行いました。

10/28 確固たる安心・安全の
実現に向け

沖縄市社会福祉協議会と特定非営利活動法人友志企画が、かりゆし園で「福祉的要配慮者風水災害時の防災並びに復旧支援協力に関する協定」を締結しました。

同協定により、市社会福祉協議会と友志企画は、災害時だけでなく、いざという時に効果的に支援できるように、日頃から協力関係を構築し、防災や減災のためのボランティア活動を行っていくこととなります。



10/31 チームワークで磨く消防技術

消防団員の消防技術の向上と士気の高揚、消防活動の充実発展を図ること等を目的とした第26回沖縄県消防操法大会が沖縄県消防学校で開催され、県内各地区代表の消防団員が出席し、日頃の訓練の成果を発揮しました。

沖縄市消防団は、中部地区支会の代表として出場し、小型ポンプ操法の部で2位、女性小型ポンプ操法の部で3位となりました。



11/11 ひとつずついいね！で確認

沖縄市消防本部で、秋季全国火災予防運動出発式を開催しました。

消防本部、消防団、女性防火クラブの所属長による観閲式や消防長訓示のあと、美浦保育園の園児がエイサーと獅子舞の演舞を披露し、消防職員や消防団員等の活動を後押ししました。

火災が発生しやすい時季です。火の取扱いに注意し、自宅には住宅用火災警報器等を設置しましょう！



まちの話題・市民の活躍

10/7 卒業後の未来を見据えて

県立沖縄高等特別支援学校に通う生徒の卒業後の就職自立に向けた就業体験が、10月7日から18日の間、市役所で行われ、2年生の金城永衣さんと比嘉華乃さんが、人事課での資料の印刷、パソコン作業、アンケートの集計等の事務処理を体験しました。

本市では、障がいのある方の受け入れ経験を活かしながら、今後も、障害者雇用の促進に取り組んでいきます。



10/24 市の農業をけん引するリーダー

優れた農業経営を行っている、農業生産組織等のリーダーとして活躍し、農業の担い手育成に力を入れている農業者が認定される指導農業者及び女性農業者に認定された肉用牛繁殖経営者の仲泊元輝氏と食用菊を中心とした農業経営者の又吉彩子氏と関係者が市役所を訪れ、両副市長に認定の報告を行いました。

本市には、農業士として認定された方が10人います。



10/20 遊休不動産で活性化

今回で3回目となる「リノベーションスクール@沖縄市」の報告会を市民会館中ホールで開催しました。

胡屋地域のホテルクイーン跡、みやぎストア隣、高宮城店舗の3つの空き店舗を対象に、受講生が3日間で立案した事業計画を物件のオーナー等に向けプレゼンテーションを行いました。

物件の特徴等を活かした事業計画が提案され、実現化に期待が寄せられました。



10/31 技術の進歩が生む新しい働き方

東京工業大学の比嘉邦彦教授を講師に迎えた、「働き方・雇い方・起業の仕方のイノベーション」と題した講演会が、スタートアップ・ラボ・ラグリーンコザで開催されました。

クラウドソーシングの基本的な仕組みや国内外での活用例、開発の現状、活用されている理由などを学んだほか、講演会終了後には関係者等のクロストークも行われ、体験談などが語られました。



10/23 ロールースポーツをもっと身近に

2018年スケートボード世界チャンピオンの土田美玲さんと県内在住のプロスケートボーダー才哲治さん等が市役所を訪れ、6月1日、中央パークアベニューの空き店舗に、沖縄県ローラースポーツ連盟の事務所を移転し、その中に実際にローラースポーツを楽しむことができる施設「KozasK8 Ramp」をオープンしたことを仲本副市長へ報告しました。



11/1 ゴミのことを楽しく学んでもらうために

琉球管理産業株式会社の当銘誠代表取締役社長等が桑江市長と比嘉教育長のもとを訪れ、市内のこどもたちに活用してほしいと本の贈呈式を行いました。

贈られたのは、こどもたちにゴミの捨て方や減量化に向けた取組など、ゴミのことを知ってもらいたいとの思いから選び抜いた「ゴミ清掃員の日常」という滝沢秀一氏原作の本で、市内全小中学校に配布されます。



まちの話題・市民の活躍

11/12

文化・ひと・心をつなぐ架け橋に

沖縄市海外移住者子弟研修生として8月21日から11月18日まで本市が受け入れをした、ペルーのエリカ末美 仲里 庄村 デ 豊福さん、アルゼンチンの安慶名 ルシア ナオミさんの研修報告会を開催しました。

日本語や陶芸、書道などの日本文化、エイサーや三線、知花花織などの本市の文化等を学び、その成果の中から琉球舞踊と三線を講師やホストファミリー等に披露しました。

本市では、昨年までにペルーやボリビアなど5カ国から47人の研修生を受け入れています。



11/2

こどもが主役 手づくりの文化・芸能まつり

第22回沖縄市子ども文化芸能まつり(沖縄市青少年育成市民会議主催)が、沖縄市民会館大ホールで開催されました。

育成会やこども会、学童クラブなど8団体が出演し、三線演奏、ダンス、獅子舞、エイサーを披露しました。また、特別出演で、7月に開催された「沖縄市少年の主張大会」で最優秀賞を受賞した美東中学校3年の當真和佳さんと越來中学校2年の島袋ひらりさんが意見を発表しました。か、安慶田小学校5年の親泊花南さんが「しまくとぅば」で意見を発表しました。



10/16

人生これから！シルバー人材センターの仲間になりませんか

10月1日～31日のシルバー人材センター事業普及啓発促進月間の取組の一つとして、事業の社会的意義、活動内容等を広く市民等に理解していただくとともに、高齢者への加入の働きかけ及び就業拡大に向けた普及啓発パネル展が市役所で開催されました。

日頃、シルバー人材センターが行っている事業の内容やボランティア活動等についてパネルなどを活用し紹介したほか、会員の入会相談を行いました。

沖縄市シルバー人材センターでは、一緒に仕事をする会員を随時募集しています。



10/21

手作りのひな人形をこどもたちへ

市諸見里の武藤初枝氏の人形展が、10月21日から25日まで市役所で開催され、小さきまざまなひな人形や五大節句を表した手作りの作品等を華やかに展示しました。

現在94歳の武藤氏。独学でひな人形等を制作し、その由来なども伝えていきます。こどもたちが人形を見て「かわいい」とにっこり喜ぶ顔が見たくて作り続けてきたと話します。

これまでに制作した人形は、市内の小学校等にも寄贈してきました。今回の作品も、市内の保育施設や来場した市民へ無償で提供されました。



今月の身近な集い処

市内各地の、仲間と集まって楽しく活動している場所を紹介いたします。

登川公民館の2階で活動している「なかよし会」を紹介します。老人会や民生委員の「地域でも運動したい」との声で今年の1月から、ちゃーがんじゅう・いきいき百歳・かみかみ百歳体操を行っています。

「慣れてきて体が軽くなってきた」「運動後は笑顔いっぱい」などの嬉しい声も聞かれます。体操を終えると、飲み物を飲みながら、ウンタクしたり、ギターを弾いたり、思い思いに楽しく過ごしています。皆さんも体操、ウンタク、音楽で心と体を元気にしませんか？



活動日時：毎週金曜日 10時～
参加費：無料
場所：登川3-36-1 (登川公民館)
問合せ：介護保険課 (内線3142)

11/10

地域の力をあわせて街をきれいに

第24回クリーンデー in 沖縄市が、11月10日に各自治会地域内で行われました。

本市では快適な生活環境及び国際文化観光都市にふさわしい街並みや各々の地域の道路、公園等の清掃活動を通して、たばこ等のごみのポイ捨て防止についての意識を啓発し、クリーンな街づくりに取り組んでおり、毎年11月の第2日曜日に地域清掃活動を実施しています。

各自治会や学校、企業、市内団体等が参加し、地域の道路や公園等の紙くずやたばこの吸殻、空き缶、空き瓶、ペットボトル等を分別しながら回収しました。



10/16

手を取り住みよい地域を創る

令和元年度沖縄市青年団協議会の役員が、沖縄警察署を訪れ、今後も地域住民の理解を得ながら、安全に青年会活動を行っていただけるよう取り組んでいくこと等を大城辰男沖縄警察署長等に伝えました。大城署長は「青年会に期待をしている。協力して地域を良くしていこう」と話しました。



11/6

捨てる前に知ってほしいこと

11月10日のクリーンデーを前に、資源を大切にすること等のPRを目的とした沖縄市クリーン指導員連絡協議会主催のリサイクル展が、11月6日、7日に市役所で行われました。

牛乳パックや傘を使って作ったカバン等普段ゴミになつてしまうものを再利用する方法を紹介したほか、環境課によるゴミの分別方法を紹介したパネル等も展示されました。



▲牛乳パックで作られたカバンを持つ親子

年末年始に向けての食べ方のコツ

令和元年も残すところあと少し。クリスマスや忘年会で、ついつい食べ過ぎることも多くなりますよね。

食べ過ぎたと思ったら、できるだけ早くリセットすることがおすすめです。今回は、食べ過ぎた翌日にリセットする方法を紹介します。

① 食事は抜かないで

リセットしたいからと、翌日の食事を抜くと、筋肉と代謝が落ちてしまう。

② ご飯や味噌汁を中心とした和食を

主食を玄米や雑穀米にすると栄養価アップ。

③ 食物繊維・ビタミン・ミネラルを意識して摂る

海藻類や緑黄色野菜、果物などを組み合わせると1食両手1杯分食べましょう。具だくさん味噌汁やスープにするとたっぷり手軽に摂れますよ。

へもずくの味噌汁▽

材料（2人分）

・もずく100g（塩抜きしておく）

・油揚げ20g ・なめこ1袋

・水菜1束 ・味噌 ・だし汁

（全て食べやすい大きさに切る）

○作り方

鍋に入れただし汁を火にかけ、油揚げともずく、なめこを加えて煮る。火を止め、味噌と水菜を加えて完成。

健康で楽しく年末年始を過ごせるよう、参考にしてみてくださいね。

市民健康課（内線2243）





10/21

公民館は楽しいところ

沖縄市自治会加入促進協議会主催の「第2回ぼくたち、わたしたちの自治会・公民館」絵画コンクールの表彰式が市役所で行われました。

自治会の行事やエイサー、ラジオ体操などが描かれた応募作品47点の中から、最優秀賞には美東小学校2年生の濱元かなえさんの「早起きしてラジオ体操行ったよ」、優秀賞には、公民館での楽しい思い出等を描いた6人の作品が選ばれました。

【優秀賞】美東小4年 濱元愛加、

美東小3年 知念満来、高原小2年 高江洲七海中の町小6年 石垣慶斗、山内小4年 喜屋武渚中の町小6年 富永沙彩

応募作品は、10月21日から25日まで、自治会加入促進パネル展とともに市役所で展示されました。

みんなで築こう！ 地域の絆

沖縄市自治会加入促進協議会では、自治会の会員増加に向けて、さまざまな取組を行っています。

沖縄市自治会加入促進協議会

(沖縄県中部宅地建物取引業者会・沖縄市自治会長協議会・沖縄市社会福祉協議会・沖縄市PTA連合会・沖縄市)

11/9

児童センターで交流の輪をひろげよう

児童センター結まつり「ちゃーびら祭 REIWA」を、沖縄市福祉文化プラザ児童センターで開催しました。

間違いない探しやボウリングなど5つのゲームをクリアするとお菓子がもらえるスタンプラリー形式の「J坊のあしびなあ〜」や、沖縄こどもの国と美東中学校サイエンス部による重心について学ぶ「バランスこまづくり」、お菓子や手作り小物ができる結心商店、児童センターダンスクラブのかわいいダンスや闘牛戦士ワイドーと遊ぶステーションなど、多彩なプログラムで来場者を楽しませました。



10/25

沖縄の土器づくりを学ぼう

第44回企画展「沖縄の土器づくりよみがえる技」が沖縄市立郷土博物館で開催されています。

沖縄の土器作製の第一人者である比嘉賀盛氏が作った土器やこでしかみることのできない土器等のほか、土器の説明や作り方のパネルを展示しています。

初日のオープニングセレモニーでは、関係者が土器にユリの花を1本ずつ生けるテープカットが行われ、比嘉良憲教育長が「多くの市民に土器づくりをとおして歴史に興味を持っていただきたい」とあいさつしました。



10/31

あなたが支える、あなたを支える国民健康保険

国民健康保険料収納率の向上のため、桑江市長を本部長とした対策本部を設置し、市役所でセレモニーを行いました。

與那嶺智才健康福祉部長の「頑張りましょう」の力強いかけ声で、収納率向上に向け、決意を新たにしました。

昨年度の本市の国民健康保険料収納率は90.42%で、一昨年度から0.8%下がっています。また、県で設定されている収納率は91.7%となっており、目標値を満たしていない状況が続いています。

国民健康保険課では、収納率向上のため、毎週水曜日に午後8時までの夜間窓口を開設しているほか、コンビニ収納の実施、口座振替手続きが簡単に行える「ペイジー端末」の窓口設置等を行っています。

今後も、安定した国保事業の運営に向けて、被保険者の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

